

学校だより

令和2年8月発行
金沢高等学校

3年生へ『切なる願い』

学校再開当初は、さまざまなことを危惧していましたが、学年全体では出席状況も良好で、さらに皆さんが笑顔で登校する様子を見ることができ安堵しています。

部活動では各種大会が中止や縮小となり、完全燃焼できずに引退した人がいるのではないのでしょうか。

現在はコロナ禍で先行き不安な世相であり、非日常的なことを余儀なくされる日々。また、毎日の健康観察に加えて、この暑さの中でも常にマスク着用、一方で熱中症と隣合わせ。そのような状況下でも、すべきことを受け入れ実行する皆さんの姿勢は誇らしく、心より感謝しております。その様子からふと本校の校訓が頭に浮かびました。『**質実剛健：表面的な華やかさに流されることなく、心身ともに健康で、どのような社会にあっても真摯に立ち向かい逞しく生きていくこと。**』という言葉ですが、このような時代だからこそ、本校で学んだことを活かし各自の目標に突き進んでほしいと願うばかりです。進路はそれぞれ違っても、校訓を胸にさまざまな困難にもくじけず立ち向かってほしい。毎朝流れる校歌や校旗掲揚塔に向かう日々など金沢高校で過ごしたことを記憶に留め、母校を生涯の誇りとしてほしい。卒業後もまた訪れたいと思うような思い出を共に作りましょう。

「これまでの当たり前がいつ戻るのか」と思い悩むよりも、With コロナの新しい生活様式の中で明るく前を向いて、残りの学校生活を共に過ごしていきましょう。一人ひとりが後悔のない進路決定をするためにも、学年団が中心となり、全力で皆さんを支えています。3月の卒業式では、皆さんが笑顔で巣立っていくことを心より願っています。

(3学年主任 藤原 史恵)

【これからの過ごし方】

1年生へ『文理選択の価値』

2学期には文理選択があります。そのためにどんな仕事をしたいのか、どんな仕事に向いているのかを考えることとなります。しかし、まだ働いていない皆さんにとって自分の興味や適正を見極めることはとても難しいことです。その中で文理を決断します。決断という言葉は断つことを決めると書きます。何かを選ぶということは何かを選ばないということです。断つことを決めた勇気が今後のあなたの成長につながります。

(1年学年会)

2年生へ『目標は具体的に！』

高校生活も半分が過ぎようとしています。皆さんは卒業後のことについて考えていますか？進路目標は人それぞれだと思いますが、この時期は目標を具体的に展開する時期だと思います。この時期は「～大学に行きたい」という目標を「～大学に行くためには今のところ～足りない。だから～を毎日～頑張ろう、そして次の模試で～点取ろう」と展開してみましょ。まだよくわからないという人はぜひ先生に面談を申し込んでください。私たちも皆さんの目標を実現できるように様々なアドバイスができると思います！一緒に頑張りましょ！

(2年学年会)

【特別探究プログラム】

特別探究プログラムの一環で8月の土曜日に希望生徒を対象に2回の講座を開催しました。

8月8日には、生徒が卒業後の進路を考える機会として「東大生と語ろう」という講座を行いました。14名の生徒を対象に東京大学教育学部4年生の増子彩夏様に「何をモチベーションに勉強するか？」「どうやって進路選択したらよいか？」「大学ってどんなところか？」などといったお話を伺いました。「継続して正しい努力を積み重ねていきたい。」という感想を抱く生徒もいました。

8月22日の講座では株式会社 HeartLanguage 代表取締役田中瑞規様にお越しいただき、「なぜ起業しようと思ったか」「起業して不安だったこと」「起業して失敗したこと」などのお話をさせていただきました。参加した生徒にとって自分がどう生きていきたいのかを考える機会となりました。



8月8日「東大生と語ろう」の様子